

建築設備工事監理報告書

年 月 日

様

建築基準法及び関係法令に適合するように施工されたことを確認しましたので報告します。
この監理報告書は事実に相違ありません。

工 事 監 理 者 () 建築士 () 登録第 号
資 格 氏 名
建築士事務所名 () 建築士事務所 () 登録第 号 TEL

建築設備に関し 建築設備士 () 登録第 号
意見を聴いた者
の氏名・勤務先名 () 登録第 号 TEL

概 要

建 築 主 氏 名					
敷地の地名地番					
確認年月日・番号	年 月 日 第 号		計画変更確認 年月日・番号	年 月 日 第 号	
建 築 物 の 名 称					
建 築 物 の 概 要	用 途		工 事 種 別		
	階 数		延 べ 面 積	m ²	
建築設備の概要 〔該当するものに チェック(✓)する〕	1. 機械換気設備		5. 給水、排水その他の配管設備		
	2. 感知器と連動して閉鎖する防火設備		6. 避雷設備		
	3. 排煙設備(自然・機械・押出し)		7. ガス設備(3階以上の共同住宅のみ)		
	4. 非常用の照明装置		8. シックハウス対策用換気設備		
			9. 浄化槽(※様式は別紙 浄連協様式)		

注)計画変更確認年月日・番号は最新のものを記載すること。

1. 機 械 換 気 設 備								有 無
報 告 事 項			状 況 等					有 無
1. 火を使用する室、居室			有 無	6. ダクトの材料とその最大寸法 垂鉛鉄板(×)・スパイラル(φ) ・その他() }				有 無
(1)ファンの種類 ○窓用換気扇、レンジフード等の小型ファン(表1に記載すること) ○フード及びダクトに接続する中・大型ファン(表2に記載すること)				7. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等 (1)防火設備の種類 防火ダンパー・防火おおい(100cm²以下) ・その他() }				有 無
(2)ファン及びダクト取付状態、運転状況			良 否	(2)大臣認定等				有 無
2. 直接外気に面しない便所 ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況			有 無 良 否	(3)検査口及び天井点検口の設置				有 無
3. 換気無窓の居室 ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況			有 無 良 否	(4)貫通部のモルタルによる穴埋め及び取付状態				良 否
4. 集会場、劇場等の用途に供する居室 ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況			有 無 良 否	(5)防火ダンパー等の作動状況				良 否
5. 中央管理方式の空気調和設備による居室 (1)ダクト及び機器の取付状態 (2)中央管理システムの監視状況と制御状況			有 無 良 否 良 否	8. 防火区画等に設ける防火設備等 (感知器と連動するものについては様式4に記載すること。) (1)防火設備の種類 [防火ダンパー・その他()] (2)大臣認定等 (3)検査口及び天井点検口の設置 (4)貫通部のモルタルによる穴埋め及び取付状態 (5)防火ダンパー等の作動状況				有 無 有 無 良 否 良 否
				◎指示事項とその手直し経過				
表1	火気使用箇所	使用器具名と燃料消費量 (kW)		実風量(m ³ /h)	注1:3、4、5の各換気設備の風量測定結果は様式3に記載のこと。 注2:窓用換気扇については定格風量を記載してもよい。 注3:表2中の係数N(40、30、20)については、S45建告第1826号に規定する 排気フードの形状によること。			
表2	火気使用箇所	係数N	理論廃ガス量 K(m ³ /kWh)	使用器具名と燃料消費量 q(kW)	燃料消費量合計 Q = Σ q	必要換気量 V = NKQ(m ³ /h)	実風量 (m ³ /h)	

(機械換気設備)
(空気調和設備)

風量測定記録

測定日 年 月 日

測定者

氏 名

会社名

注1:空気調和機の場合は、1基毎に別紙に記録のこと。

注2:リターン無しで、100%新鮮外気による場合は「新鮮外気量」の欄に記載しないこと。

[illegible]

2. 感知器と連動して閉鎖する防火設備		
報 告 事 項	状況等	
1. 感知器と連動する防火戸等(防火設備等)	有 無	(2)配線工事の種類 { 配管工事・ケーブル工事 } ・その他() (3)配線方法の種別 { RC埋設・天井いんべい・露出 } ・その他() (4)配線の状態 ◎ 指示事項とその手直し経過
(1)防火戸等を設置する区画 { 面積区画・竪穴区画・異種用途区画 } ・その他()		
(2)防火戸等を設置した箇所数[箇所]		◎ 指示事項とその手直し経過
(3)感知器の種類 [煙感知器・熱感知器・その他()]		
(4)感知器の取付状態(防火設備から10m以内)及び感知状況	良 否	
(5)防火戸等の取付状態	良 否	
(6)防火戸等の作動状況(周囲の人の安全確保)	良 否	
2. 感知器と連動する防火ダンパー	有 無	
(1)防火ダンパーを設置する区画 { 面積区画・竪穴区画・異種用途区画 } ・その他()		
(2)防火ダンパーを設置した箇所数[箇所]		
(3)感知器の種類 { 煙感知器・熱感知器 } ・その他()		
(4)感知器の取付状態(防火ダンパーから10m以内)及び感知状況	良 否	
(5)防火ダンパーの取付状態及び作動状況	良 否	
3. 連動制御器	有 無	注:感知器と連動する防火ダンパーにあっては、当該防火ダンパーと、ダクトの換気孔等及び感知器の取付位置を明記した平面図、さらに連動表を添付すること。
(1)設置場所[]		
(2)制御回線数[防火戸等 回線・防火ダンパー 回線]		
(3)制御状況	良 否	
4. 連動制御器と自動閉鎖装置間の配線	有 無	
(1)電線の種類 { 耐火電線・耐熱電線・耐火ケーブル・耐熱ケーブル } ・その他()		

3. 排 煙 設 備(1/2)		
報 告 事 項	状 況 等	
A. 自然排煙設備	有 無	
A1. 排煙口(手動開放装置を用いるものに限る。)		
(1)排煙口の大きさや位置	良 否	良 否
(2)取付状態及び手動開放装置による作動状況	良 否	良 否
A2. 手動開放装置		
(1)取付高さ及び使用方法の表示	良 否	
(2)取付状態	良 否	
A3. 防煙区画		
(1)防煙垂れ壁(固定式・はり)	有 無	
○位置と丈及び構造	良 否	
○取付状態	良 否	
(2)防煙垂れ壁(煙感知器連動式)	有 無	
○位置と丈及び構造	良 否	
○取付状態及び作動状況	良 否	
※連動制御器については様式4に記載のこと。		
B. 建告第1436号第三号への各号を適用した室又は居室 〔①・②・③・④・⑤〕	有 無	
(1)間仕切りによる他の部分との防煙区画状況	良 否	
(2)出入り口部分の防煙区画状況	良 否	
(3)内装制限による室内の仕上げ状況	良 否	
C. 機械排煙設備	有 無	
C1. 排煙口		
(1)位置	良 否	
(2)取付状態及び手動開放装置による作動状況	良 否	
(3)排煙状況(風量測定結果を添付すること。)	良 否	
C2. 手動開放装置		
(1)取付高さ及び使用方法の表示		良 否
(2)煙感知器と連動する方式との併用		良 否
(3)取付状態		良 否
C3. 防煙区画		
(1)防煙垂れ壁(固定式)		有 無
○位置と丈及び構造		良 否
○取付状態		良 否
(2)防煙垂れ壁(煙感知器連動式)		有 無
○位置と丈及び構造		良 否
○取付状態及び作動状況		良 否
※連動制御器については様式4に記載のこと。		
(3)防火防煙シャッター等による他の排煙方式との防煙区画 (様式4に記載のこと。)		良 否
C4. 排煙機		
(1)仕様(承認図面等を添付すること。)		
(2)大臣認定等		有 無
(3)2以上の防煙区画部分に係る排煙機		有 無
(4)設置場所		
{ 階 室(床置き・天吊・天井いんぺい) 階 室(床置き・天吊・天井いんぺい) }		
屋内設置状況(耐火区画された室)		良 否
(5)排煙口の開放に伴う自動起動状況		良 否
C5. 排煙ダクト		
(1)ダクトの取付及び断熱材の被覆の状態		有 無
(2)温度ヒューズ付防火ダンパーの設置		有 無
○大臣認定等		良 否
○検査口及び天井点検口の設置		良 否
○貫通部のモルタル等による穴埋め		良 否
○取付状態、作動状況		良 否

3. 排 煙 設 備(2/2)				
報 告 事 項		状 況 等		
D. 特殊な構造の排煙設備(押し排煙)		有 無	(4)排煙口の開放に伴う自動起動状況	良 否
D1. 特殊な構造の排煙設備(押し排煙)			(5)据付状態及び運転状況	良 否
(1)各室における給気及び排煙する方式		有 無	D7. 給気ダクト	
(2)複数の室を統合した給気を行い各室で排煙する方式		有 無	(1)ダクトの材質及び取付状態	良 否
(3)給気室の位置〔 〕			(2)防火防煙区画貫通部のモルタル等による穴埋め	良 否
D2. 排煙口			E. 予備電源等及び監視制御	有 無
(1)位置及び大きさ		良 否	E1. 予備電源等	
(2)取付状態及び手動開放装置による作動状況		良 否	(1)蓄電池方式	有 無
(3)排煙状況(風量測定結果を添付すること。)		良 否	○停電検出電源切替装置の作動状況	良 否
D3. 手動開放装置			○30分間継続運転可能な容量	良 否
(1)開放方式〔 〕			(2)自家発電方式	
(2)取付高さ及び使用方法の表示		良 否	○自主認定制度による認定((社)日本内燃力発電設備協会等)	有 無
(3)取付状態		良 否	○停電検出電源切替装置の作動状況	良 否
D4. 防煙区画			○据付状態、運転状況	良 否
(1)準耐火構造の壁、床による他の排煙方式の部分との区画		良 否	(3)エンジン直結方式	
(2)給気室における防火戸等の構造及び給気時の開閉状況		良 否	○停電検出電源切替装置の作動状況	良 否
(3)連絡経路に設ける戸の構造及び給気時の開閉状況		良 否	○据付状態、運転状況	良 否
(4)圧力調整装置等の設置		良 否	E2. 電気配線	
D5. 給気口			(1)電線の種類	
(1)位置及び大きさ		良 否	〔 耐火電線・耐熱電線・耐火ケーブル・耐熱ケーブル 〕	
(2)給気状況(風量測定結果を添付すること。)		良 否	・その他()	
D6. 送風機			(2)配線工事の種類	
(1)仕様(承認図面等を添付すること。)			〔 配管工事・ケーブル工事 〕	
(2)大臣認定等			・その他()	
(3)設置場所		有 無	(3)配線方法の種別	
〔 階 室(床置き・天吊・天井いんぺい) 〕			〔 RC埋設・天井いんぺい・露出 〕	
階 室(床置き・天吊・天井いんぺい) 〕			・その他()	
			(4)配線の状態	良 否
			(5)使用方法の表示	良 否
			(6)取付状態	良 否
			E3. 中央管理室	有 無
			中央管理室における監視と制御状況	良 否
			◎ 指示事項とその手直し経過	

※排煙機又は給気用送風機ごとに記載すること。

測定者 氏名

会社名

No.	製造者名
-----	------

仕 様[_____m³/h×_____kW×_____Pa]

防煙区画名(室名等)

床面積(m²)

排煙口開口面積

No.

 (m^2)

排煙風量

必要風量(m³/h)

測定風量(m^3/h)

給気口開口面積

No.

 (m^2)

給気風量

必要風量(m³/h)

測定風量(m³/h)

備考

[illegible]

4.非常用の照明装置

[illegible]

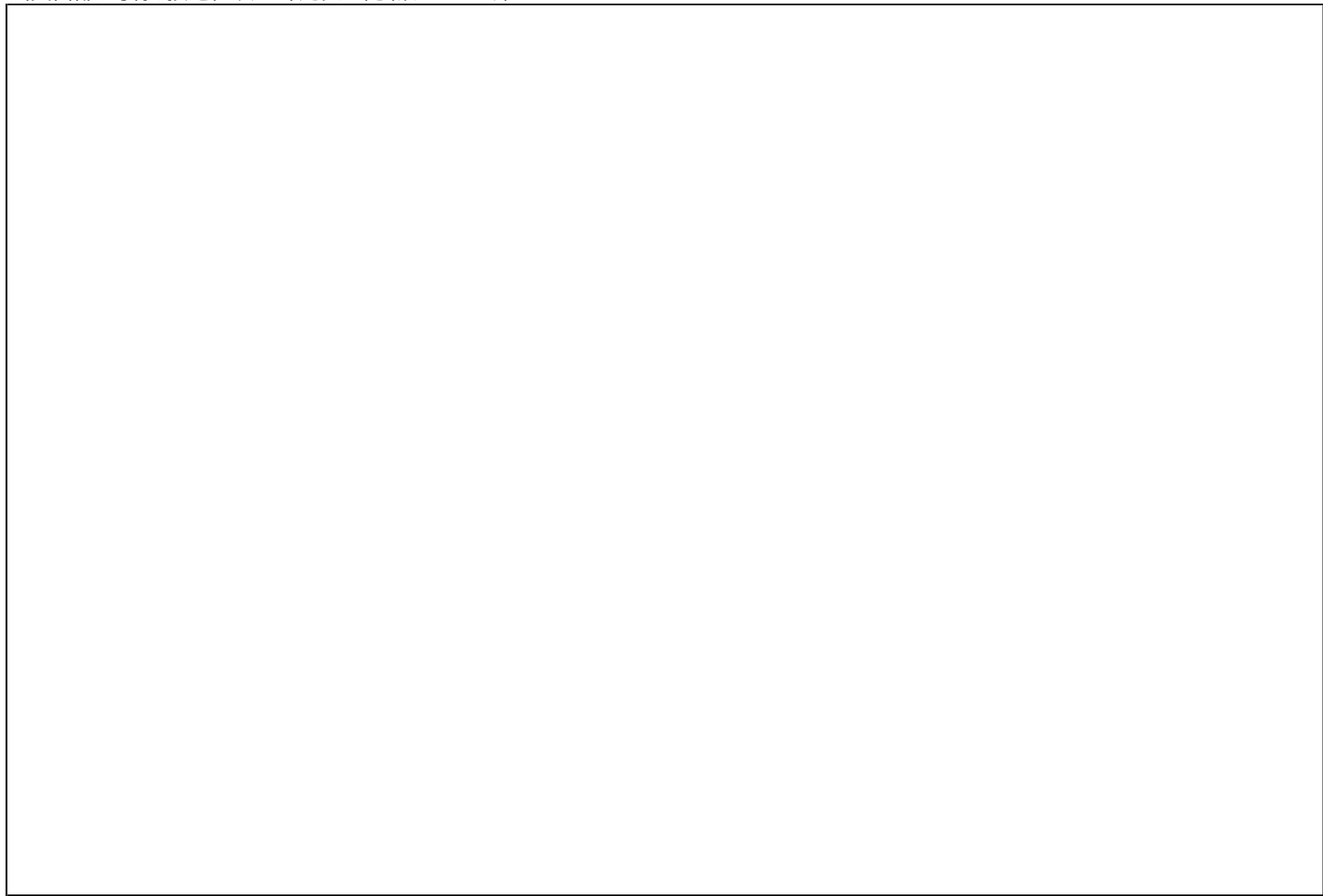
6. 避雷設備

報告事項	JIS Z 9290-3-2019	状況等	報告写真
1. 受雷部システム			埋設部写真
○雷保護レベル(LPL)	[I・II・III・IV]	良 否	
○受雷部が必要な領域	[屋上・側壁[60m超・75m超は上部20%]]	良 否	
○受雷部	[突針・水平導体・メッシュ導体]	良 否	
○配置	{ 保護角度 [保護角度 °] 回転球体法 [20・30・45・60] メッシュ法 [5・10・15・20]	良 否	
2. 引下げ導線システム			
○引下げ導線	[直接法・構造体利用]	良 否	
○LPSクラスに応じた引下げ導線の平均間	[I 10・II 10・III 15・IV 20]	良 否	
3. 接地極システム			報告写真
○接地極	{ A型 [板状・垂直・水平] B型 [環状・網状・基礎] 構造体利用	良 否	
4. 共通			構造体利用部位等(接地極と構造部接続)写真 ・接続極の埋設部
○取付け	受雷部及び引下げ導線を堅固に取付け	良 否	◎指示事項とその手直し経過
○接続部	{ 黄銅ろう付け・溶接・圧着・ねじ締め・ボルト締め 半田付け・テーパ面接触接続・その他	良 否	
○材料	{ 気中 銅・溶融亜鉛めっき鋼・ステンレス鋼 アルミニウム・鉛	良 否	
	地中 [銅・溶融亜鉛めっき鋼・ステンレス鋼・鉛] コンクリート内 [銅・溶融亜鉛めっき鋼・ステンレス鋼] 構成部材の状態(寸法・腐食など)		
○構造体利用部位等(有の場合は写真添付)	受雷部システムと構造体との接続部・接地極と構造体との接続部・ 構造体間の接続部(PCユニット、鉄骨・鉄筋間)		
5. 離隔距離			
○受雷部及び引下げ導線と金属製工作物及び電力信号設備等との離隔距離		良 否	

○避雷設備概略図

JIS Z 9290-3-2019

(受雷部、導線、接地極及び外周長を記載すること。)



6. 避 雷 設 備

□ 報 告 事 項 JISA4201:1992(旧JIS)		状況等	□ 報 告 事 項 JISA4201:2003(新JIS)		状況等
1. 避雷設備の方式 直接法・簡略法 ・その他()			1. 受雷部システム ○受雷部 〔 突針・水平導体・メッシュ導体 〕 ○配置 保護角法 〔 20・30・45・60・60超過 〕 回転球体法 〔 20・30・45・60 〕 メッシュ法 〔 5・10・15・20 〕		

○保護レベル 〔 I・II・III・IV 〕

令和8年4月1日以降着工分は使用不可

注:採用したJIS規格の□を■にすること。

8. シックハウス対策用換気設備		風量測定記録			測定日 年 月 日							
					測定者 氏名		会社名					
報 告 事 項	状況等	換気 工 号 番号	換気 種 別	室名	床面積 A(m ²)	平均 天井高 h(m)	気積 V=A×h (m ³)	換気回数 N(回/h)	所要換気量 Q=V×N (m ³ /h)	実測風量(m ³ /h)		備考
										給気	排気	
1. 換気計画 ○換気エリア、換気経路、間仕切り建具等の通気性の確認(※) ※ 換気計画を示した図を添付をすること。-----	良 否											
2. 換気種別 ○換気方法の種別(第1種・第2種・第3種)の確認	良 否											
3. 換気回数 ○必要換気回数(0.3・0.5・0.7回/h)の確認	良 否											
4. 換気設備スイッチの措置 ○常時運転を指示する注意書き等、シックハウス対策用としての配慮ができていないかの確認	良 否											
5. 換気装置の取付状態、運転状況	良 否											
6. 給排気口の状態 ○給排気口の有無、位置、大きさの確認 ○雨除け・虫除け対策の確認	良 否											
7. 換気ダクトの施工状況 ○防火区画貫通措置等の確認 ○ダクト材質の確認	良 否											
8. 換気装置の能力(風量測定記録) ○次のイ～ハのいずれかの方法により風量を確認し、 右風量測定記録の実測風量欄に記入する。 イ.実測風量測定 ロ.換気装置ダクト等の圧力損失計算(計算書、資料の添付) ハ.定格風量(カタログ等資料の添付) ※上記ハ.は壁付け換気扇等の場合のみ適用可	良 否 イ・ロ・ハ	◎指示事項とその手直し経過										